

経営比較分析表（令和4年度決算）

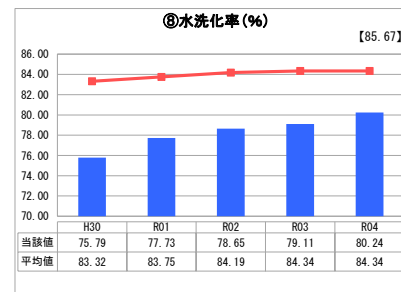
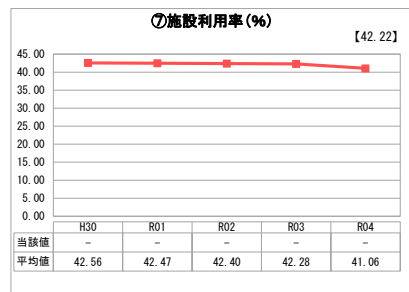
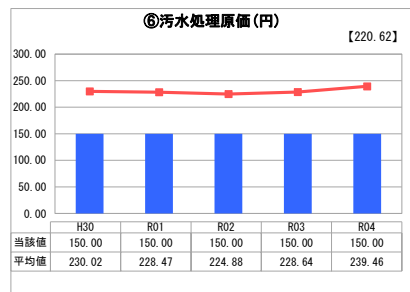
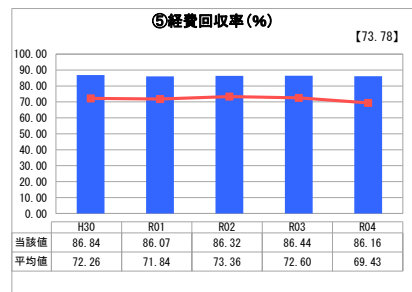
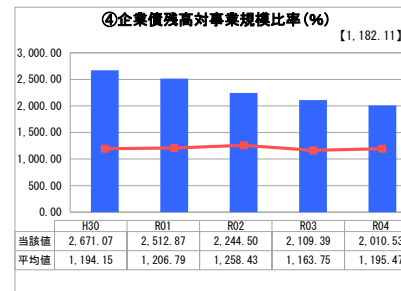
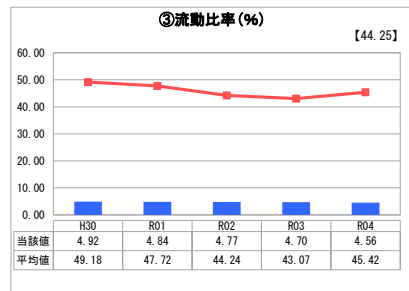
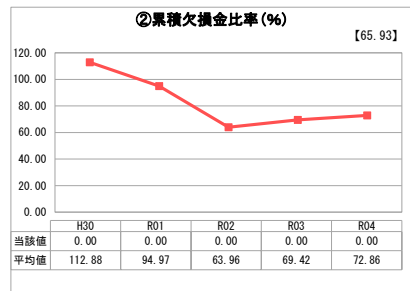
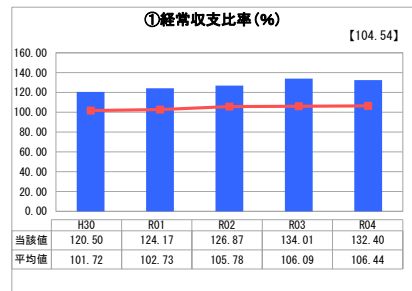
石川県 小松市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	45.39	1.95	89.31	2,530

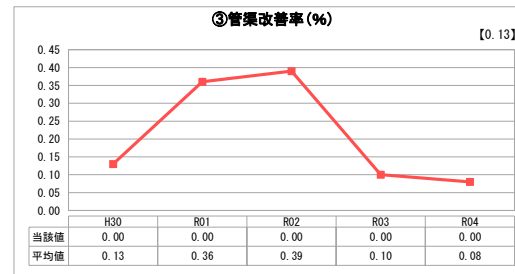
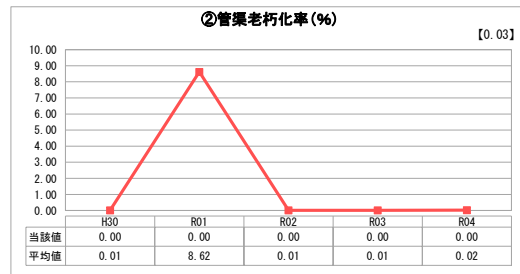
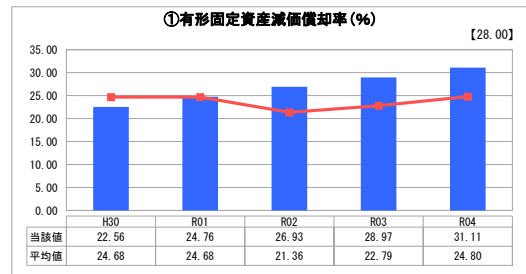
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
106,405	371.05	286.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,075	0.84	2,470.24

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

主な経営指標である経常収支比率や経費回収率では類似団体や全国平均を上回っており、健全な数字となっています。一方で、企業債残高対事業規模比率では、事業規模に対して企業債残高の割合が高いという結果になっています。しかし、小松市の特定環境保全公共下水道は整備が完了していることから今は適正な規模に収束していくものと考えています。今後は、水洗化率の向上や経費削減に努め、企業債残高の圧縮を図り「安全・安心」の下水道事業を推進していきます。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超える管渠は有りませんが、短い期間において管渠布設工事を集中して行っており、管渠の更新工事が短期間に集中しないよう長寿命化計画を策定のうえ、計画的に更新事業を行う予定です。

全体総括

今後も経営改善と老朽化施設の更新を同時に行っていく必要があります。したがって、経営を圧迫するような過大な投資にならないよう、企業債発行額の上限を設けることにより投資を平準化させ、収支のバランスをとりながら、事業経営を進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。